

市長の窓

1月25日戸籍電算化スタート・セレモニーで、請求者第1号の方に個人事項証明書を手渡す齊藤市長



しげのぶ
滋宣の

ぼうちゅう かん あんちゅう めい
“忙中、閑あり。暗中、明あり。”
～その9～

～ 薄氷（うすらい） ～

「薄氷」と書いて「うすらい」と読みます。
きれいな言葉です。

次第に春めいて、吹く風も生暖かくなり、春がすぐそこまで来て、もう氷も張ることはないだろうと思っていると、また寒さがぶり返し、田んぼや水たまりなどに薄い氷が張ることがあります。

子供の頃、そんな氷を長靴で割って遊んだ記憶がよみがえります。

薄氷の 草を離るゝ 汀かな
みざわ
(高浜虚子)

やがて日が高くなると、あっけなく溶けてしまうのも儚くて、「薄氷」は、春がすぐそこまで来ていることを予感させます。

最近の、雪が降ったり雨が降ったり of 異常気象の中で、ふと浮かんだ言葉です。

能代市長 齊藤 滋宣